

研究計画書

ゼミ名	市野ゼミⅡ	チーム名	ヤンキーズ
タイトル	ヤンキーは減ったのか		
テーマ群	c) 公共経済		
メンバー	井克胤、井出雅久、池内亜美、加田信吾、北純也、黒田和希、芝嗣絵梨奈、永田日南子、野村千紘、葉田勇志		
研究計画内容	<p>数年前、人気アイドルグループがヤンキー役を務めるドラマや若手芸人が作成したヤンキー映画がヒットしたことから、私たちは少なからず「ワル=かっこいい」、「ワル=ヤンキー」という共通の概念を持っているように思います。中高生のときに、喧嘩やタバコなど、ヤンキー的なものに憧れを抱いた人も多くいるのではないのでしょうか。にもかかわらず、実際にはドラマや映画に登場するような、バイクでの暴走行為や、見るからにヤンキーらしい格好をした若者たちはあまり見かけなくなり、「ヤンキー=時代遅れ」というようなとらえ方に変わってきているのではないかと思います。そこで私たちは、かっこいいはずのヤンキーが近年本当に減少しているのか、そしてその原因はなんなのかを研究します。</p> <p>研究方法としては、まず、インターネットなどから集めた、ヤンキーらしい要素であると私たちが感じるような統計の推移（例：未成年の喫煙者数、未成年の犯罪件数、未成年の母の出生数、工業高校の生徒数など）をもとにして独自のヤンキー指標を作成し、それをもとにして近年のヤンキーの増減の傾向を分析します。そして、集めたそれぞれのデータを参考にしながら、ヤンキーの数に変化をもたらした要因を経済学的な観点から考えていきます。</p> <p>この研究の最終目的としては、ヤンキーというイメージが浮かびやすいモデルであり、私たちの身近に存在するようなものの変化を研究することによって、近年の日本の経済や若者の変化をわかりやすく捉えられるようにすることです。</p>		